

わたしのまちの健康プロフィール(豊肥版)

1 管内の概要

【作成元】平成28年4月
大分県豊肥保健所
 〒879-7131 大分県豊後大野市三重町市場934番地2
 TEL:0974-22-0162/FAX 0974-22-7580
 e-mail: a12086@pref.oita.lg.jp

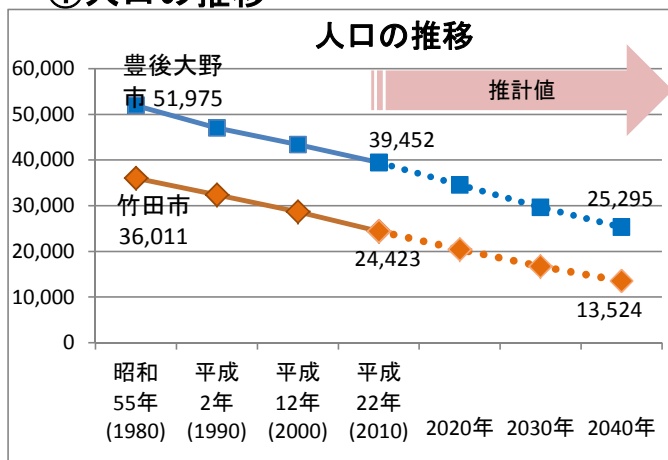


人口	管内	59,024 人 (対前年1,129人減)
	竹田市	22,265 人 (△2.33%減)
	豊後大野市	36,759 人 (△1.60%減)
世帯数	管内	24,193 世帯 (対前年92世帯減)
	竹田市	9,375 世帯
	豊後大野市	14,818 世帯
高齢化	管内	42.4 % (対前年1.0%増)
	竹田市	44.8 %
	豊後大野市	40.9 %
	大分県	30.4 %

(1) 人口

資料:大分県統計調査課「推計人口」(平成27年10月1日現在)

①人口の推移



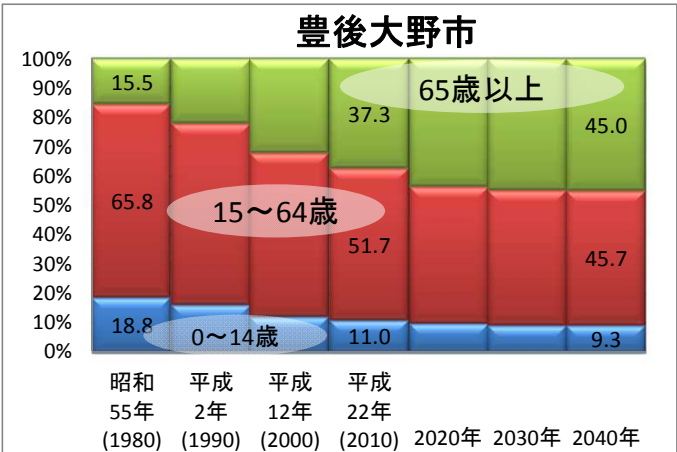
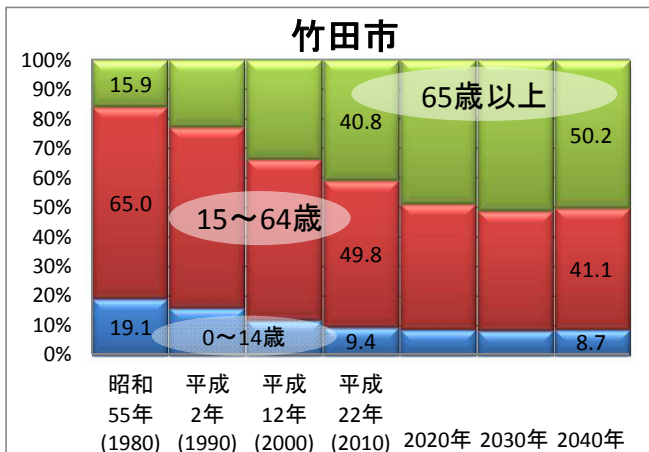
人口は年々減少しており、今後も減少すると予想されています。平成27年の人口減少率は、竹田市が2.33%減と県下で最も高く、豊後大野市は1.60%減(県内5位)でした。

また、豊肥地域は県内でも高齢化率の高い地域であり、平成27年の高齢化率は、竹田市44.8%(県内2位)、豊後大野市40.9%(県内3位)でした。

65歳以上の高齢者が増える一方で、15歳~64歳の世代は年々減っており、高齢者を地域全体で支える仕組みづくりが必要となっています。



②年齢3区分別人口割合の推移



資料:1980年~2007年 総務省統計局「国勢調査」
 2020年~2040年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成25年3月推計)

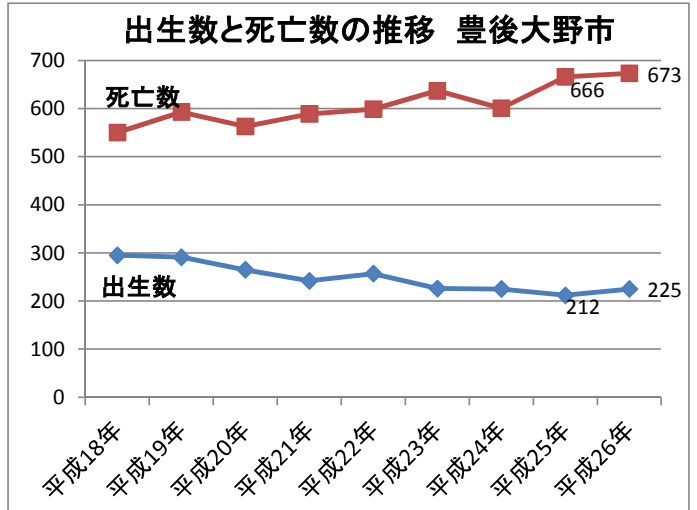
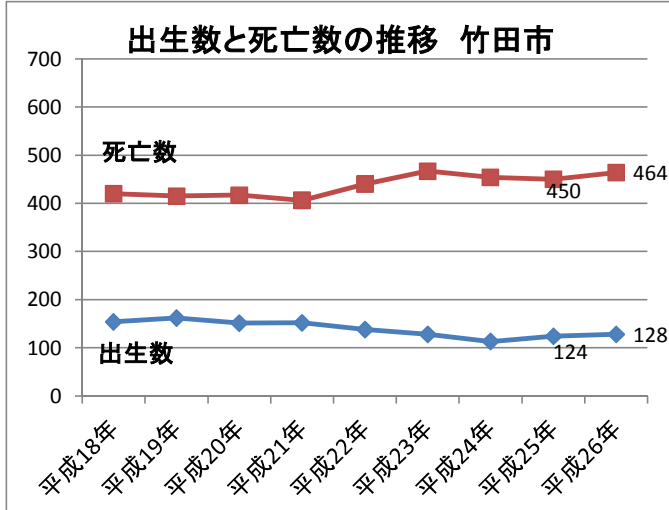
2 人口動態

(1) 出生と死亡の状況

平成26年	生まれる赤ちゃん【出生】			亡くなる人【死亡】		
	出生数 (実数)	出生率 (人口千対)	(再掲) 出生数 2,500g 未満	合計特殊 出生率※	死亡数 (実数)	死亡率 (人口千対)
大分県	9,279	8.0	798	1.57	14,065	12.1
竹田市	128	5.7	9	1.62	464	20.5
豊後大野市	225	6.0	20	1.58	673	18.1

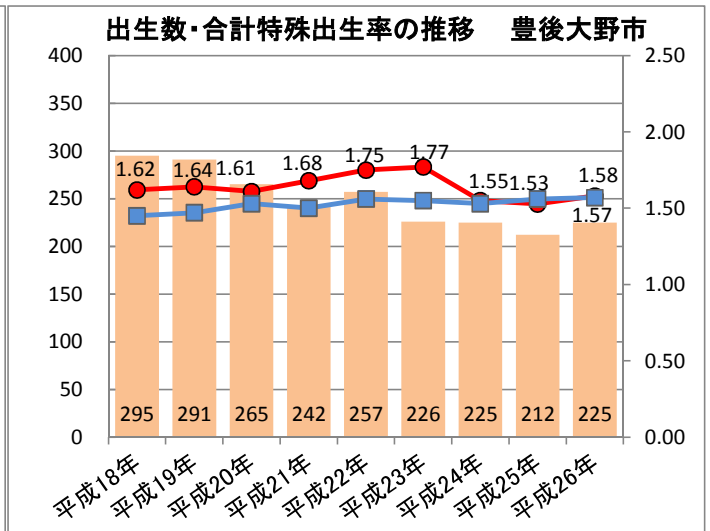
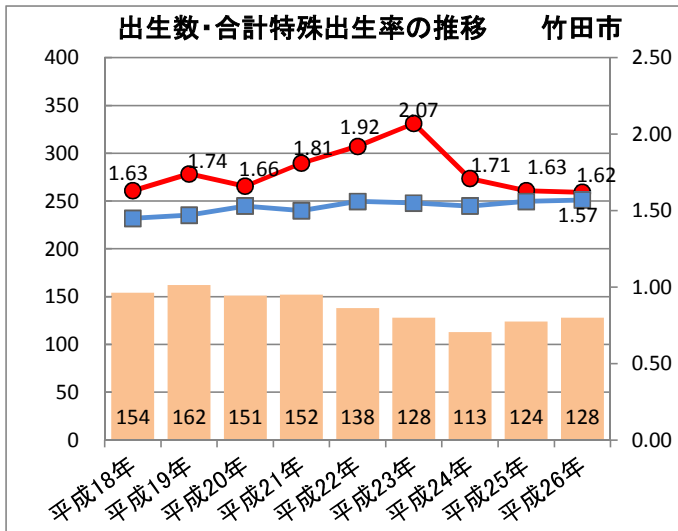
資料：厚生労働省「人口動態統計」

各市の合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ(平成22年～26年の平均値)



竹田市、豊後大野市ともに、県に比べ、人口千人あたりの出生率が低く、死亡率が高くなっています。また、死亡数が出生数を上回り、自然減の状況が続いています。

(2) 出生数と合計特殊出生率の推移



出生数

合計特殊出生率【市】

合計特殊出生率【県】

合計特殊出生率は、1人の女性が一生の間に生む子どもの数をあらわす指標で、人口を維持するためには、2.07以上が必要です。

管内の合計特殊出生率は県よりも概ね高い値で推移していますが、出生数は減少傾向です。

平成26年の合計特殊出生率は、竹田市1.62（県内10位）、豊後大野市1.58（県内12位）であり、近年横ばいの状況が続いています。



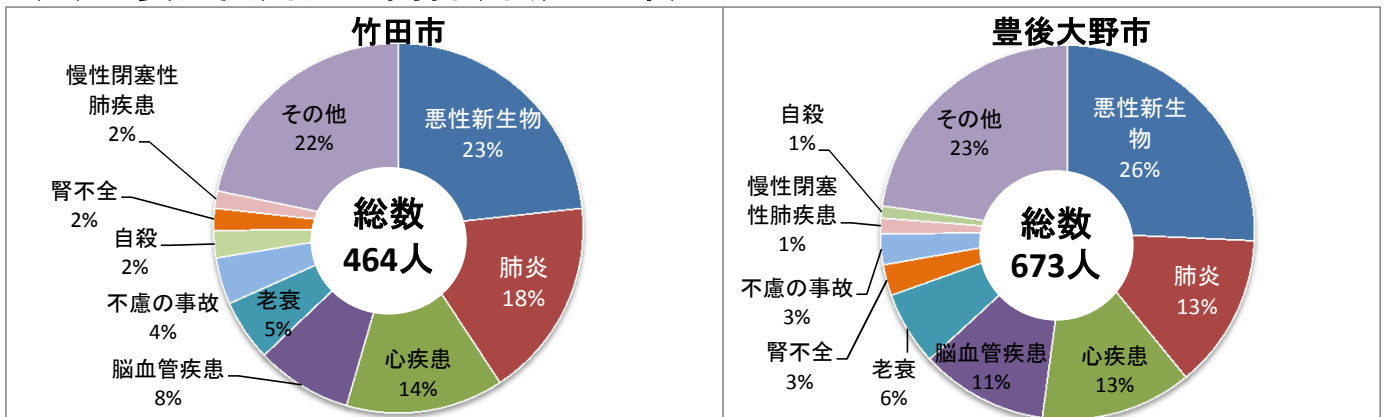
(3) 主要死因別死亡数・死亡率(人口10万対)

平成26年

死因	大分県	竹田市		豊後大野市	
	率	実数	率	実数	率
死亡総数	1209.4	464	2048.7	673	1807.5
悪性新生物	329.8	108	476.9	173	464.6
心疾患	176.8	64	282.6	88	236.3
脳血管疾患	110.2	39	172.2	74	198.7
肺炎	124.0	81	357.6	90	241.7
腎不全	24.3	9	39.7	18	48.3
老衰	63.0	25	110.4	43	115.5
不慮の事故	41.6	19	83.9	18	48.3
慢性閉塞性肺疾患	19.6	7	30.9	9	24.2
自殺	17.6	11	48.6	7	18.8

資料:厚生労働省「人口動態統計」

(4) 主要死因別死亡割合(平成26年)



主要死因別死亡率(人口10万対) 上位5疾患

竹田市	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年	悪性新生物	肺炎	心疾患	脳血管疾患	老衰
平成25年	肺炎	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	不慮の事故
平成24年	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	不慮の事故

豊後大野市	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年	悪性新生物	肺炎	心疾患	脳血管疾患	老衰
平成25年	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰
平成24年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰

注) 表中の、色塗りの部分は生活習慣病に起因するとされる疾患です。

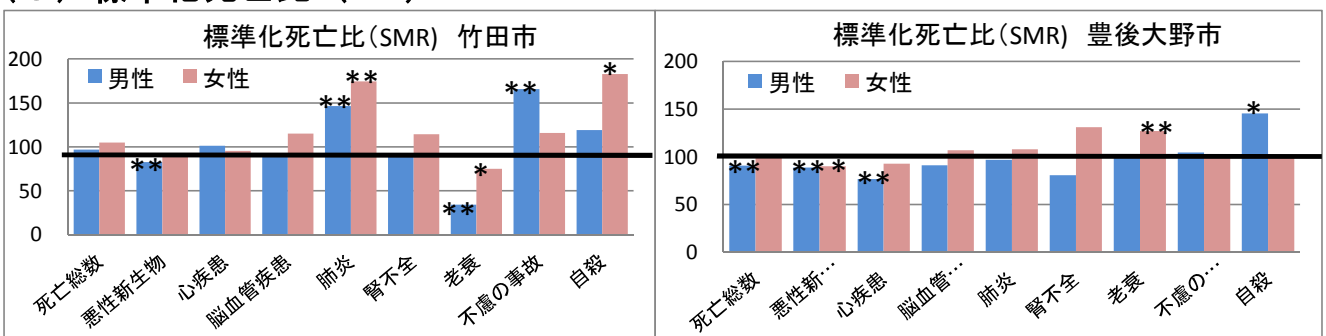
管内の死因別死亡数は、悪性新生物、肺炎、心疾患、脳血管疾患が上位4位までを占めています。平成26年は、竹田市、豊後大野市共に肺炎が死因の第2位となっています。近年、全国的にも肺炎で亡くなる人が増加傾向です。



死亡の状況は人口規模や年齢構成に影響されるので、地域毎に比較する場合は、年齢構成の差を取り除いた「標準化死亡比(SMR)」を用います。

竹田市では男女の肺炎、男性の不慮の事故、女性の自殺、豊後大野市では女性の老衰、男性の自殺が統計的に高くなっています。

(5) 標準化死亡比(SMR)



注) *は5%の危険率、**は1%の危険率で有意に期待死亡率と差がある。

資料:大分県健康指標計算システム(県福祉保健企画課)H22~26年統計

3 平均寿命とお達者年齢

～平均寿命と健康寿命について～

「平均寿命」は、0歳の子どもの何年生きられるかを示したものであり、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出（※1）し、毎年公表（※2）しています。

「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に、「健康上の問題で日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。

平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。

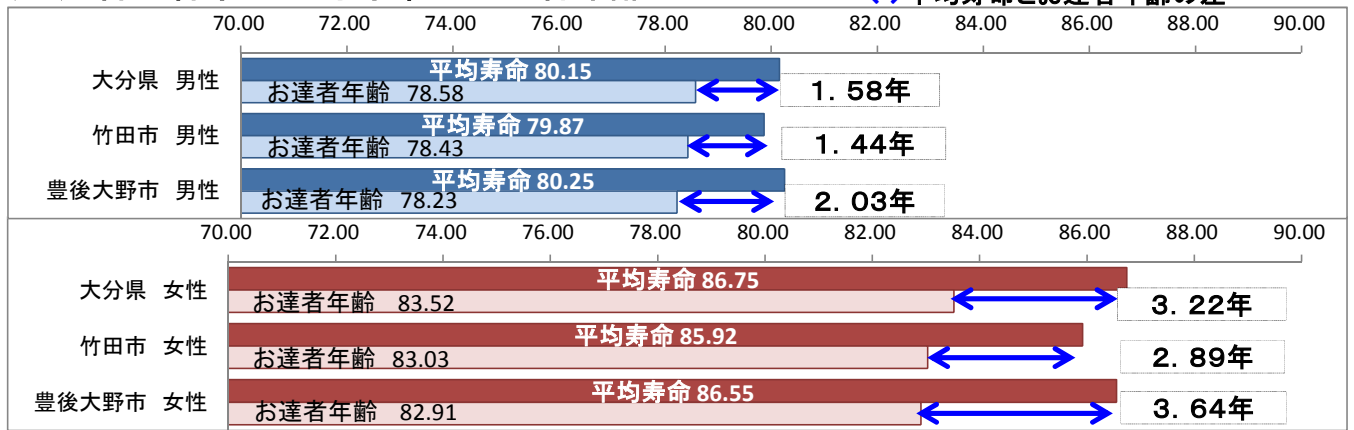
なお、人口規模の小さい市町村では、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として、「お達者年齢」（※3）を大分県が毎年公表（※2）しています。

- ※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出
- ※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用
- ※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義



(1) 管内各市の平均寿命とお達者年齢

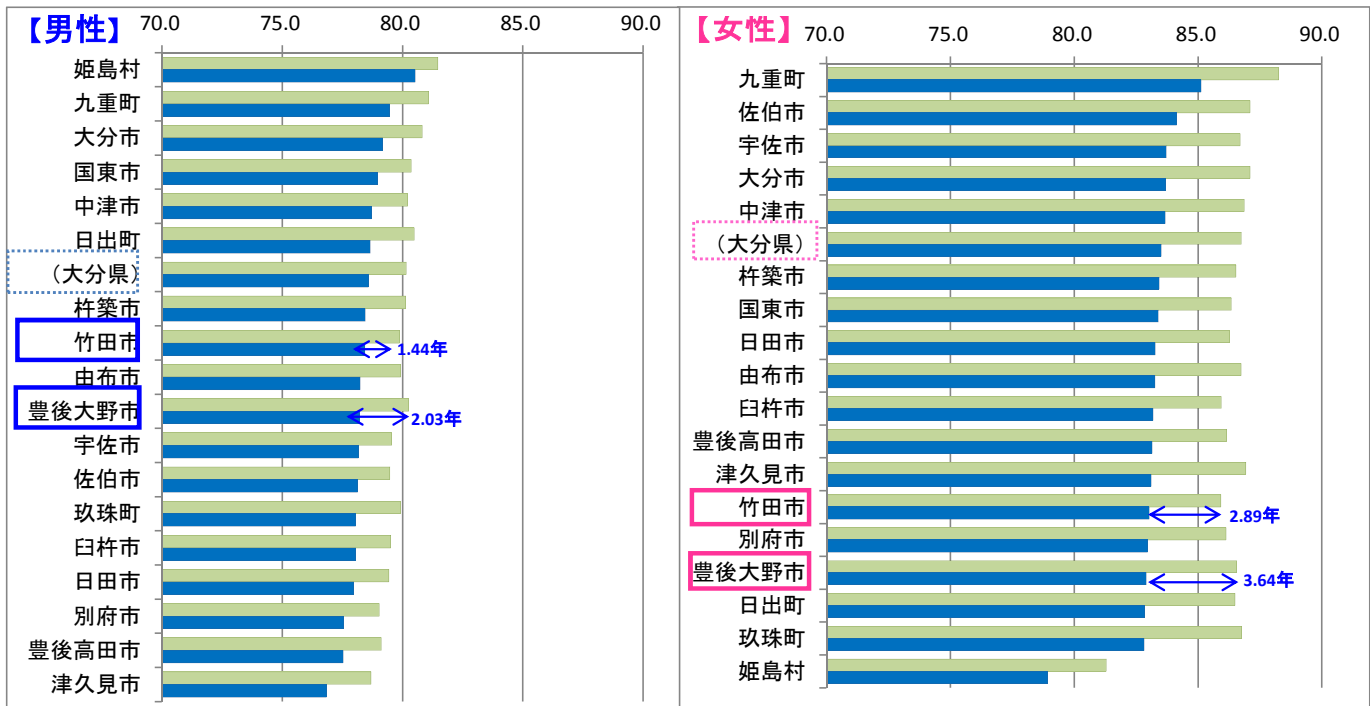
↔ 平均寿命とお達者年齢の差



資料：大分県健康指標計算システム（県福祉保健企画課）H22～26年統計

(2) お達者年齢 市町村ランキング

■ お達者年齢 ■ 平均寿命



管内のお達者年齢は、県平均に比べ男女共に低い傾向にあります。平均寿命とお達者年齢の差をみると、管内では男性が1～2年、女性が2～4年です。

健康寿命を延ばすためには、若い頃からの健康的な生活習慣と、高齢者の介護予防が重要です。「元気で長寿な地域No1」を目指しましょう！

